

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1975
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.48, No.9 (1975. 9) ,p.119- 119
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	追悼記事
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19750915-0119

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

去る七月九日、本塾大学名誉教授西本辰之助先生が、郷里の和歌山の御自宅で逝去された。享年九十一歳。

西本先生は、明治四十年四月、法律科を卒業されるや、直ちに義塾に奉職され、その後六十数年間、義塾の教壇にたれたのであり、本塾大学名誉教授の中で、高橋誠一郎先生と共に最長老であつた。先生が義塾の教職につかれた当時、法律科の卒業生の専任教員は、先生の外には、神戸寅次郎先生だけであつた。民法の神戸先生、商法の西本先生、この御二人の先生が、それぞれの専門分野において不朽の足跡を残されたことは、いまさらここにいうまでもない。現在、わが国各大学の数多い法学部の中において、屈指の規模と内容を確立している義塾法学部法律学科の基礎は、正に両先生によつて築かれたのである。

神戸先生は、現職のまま比較的早く御他界になつたが、西本先生は、太平洋戦争中、専任教授の地位を引退された後も、数年前、故郷に隠栖されるまで二十数年間、講師として塾生の指導、育成に当られた。御高齢に

もかわらず泰然たる御姿勢で淡々と進められたその御講義は、先生からみれば孫のように若い塾生に、ふかい感銘をあたえたのである。

和歌山へ移られてからの先生の御様子は、ときどき先生を訪れる法学部関係者によつてもたらされたが、いづれも先生のかくしやくたる御姿を伝えるものばかりであつた。今回の計報は全く突然のことで意外というほかはない。承れば、先生はその前日まで外出されており、文字通りの「急逝」であつたとのことである。九十一歳の御年齢からみれば、天寿を完うされたものといえるであろうが、先生の末ながき御長命を信じていたわれわれとしては、寔に痛恨おく能わざるところであつた。茲に謹んで先生の御冥福をお祈りする次第である。

本号に、先生の「追悼記事」を特集するに際し、全くの短期間にも拘らず、追悼文を寄せられた前原、津田、今泉、峯村の四名誉教授並に高鳥教授の御配慮にふかく感謝の意を表する。

昭和五十年八月

法学研究編集委員会